

# mmc NEWS

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ  
〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学広報課内 MMC事務局  
電話 03-3296-4082  
FAX 03-3296-4087  
e-mail : mmc@meiji-mmc.sakura.ne.jp  
発行人 木村 武  
編集人 斎藤 柳光・梶野 雅秀

## 2009年総会で新体制、新基軸を!

明治大学マスコミクラブ(MMC)は、今年、節目の10年目を迎えます。駿台マスコミクラブと明大マスコミ会が「母校は明治大学」という合言葉のもとに大同団結。会員相互の交流とともに、愛する後輩のための就職セミナーや就活講座の運営、さらには母校広報の支援と、年を重ねるごとに活動の充実を図ってまいりました。そして2009年1月28日総会を期に新たな一歩を踏み出します。

「明治大学マスコミクラブここにあり」。2008年の活動は、まさに決意の10年目を迎えるためにと、かつてない会員の熱意と母校との連携による充実の1年でした。その軸になったのは、「マスコミを目指す現役の学生諸君と一人三脚の就職チャレンジ活動です」。

詳細は2、3面で報告させていただきますが、全7ジャンルのセミナーと、8カ月にわたる延べ58日



間の就職講座は累計2000人以上の燃える後輩諸君に、総数74人の会員が講師役を買って出て、熱血指導しました。大学の就職キャリア支援グループや広報課のバックアップのおかげで、ボランティアの域を大きく超えた後継者養成支援活動となりました。

その原動力は「私学の雄・明大パワーをマスコミ界でも」という悲願です。独走の早稲田、新興の法政、着実な慶応など、ライバル校ひしめく業界で覇権を獲得するた

## MMC 10周年、今こそ正念場

MMC会長 木村武



2009年は、昨年のサブプライム、金融危機、格差問題、世界同時不況から、恐慌がちらつく年明けになった。

MMCフォーラムで高木教授は、現状の危機は、ブッシュ、小泉政権でセフティネットなしの規制緩和、市場原理主義により準備された失政の結果であり回復に相当な時間とエネルギーが必要であると述べられた。厳しい船出になった

めです。

木村武会長体制下で軌道に乗せたこの大きな使命を10年目以降どう結実させるか、MMCの責任はより重大なものになりました。総会で検討される新体制のもと、就職支援にとまらず、広報支援や大型企画などによる母校への一層の貢献を果たすこととなります。

求められるのは会員のなご層の母校愛と連帯です。よろしくお願いたします。

今年、MMCは、10周年を迎える。●マスコミ就活講座

2年目を迎えたマスコミ就活講座は、学生の熱気で昨年を上回る講座数が生まれ、1・2月まで延長する勢いである。OB講師の熱意に感謝するのみ。

この就活講座の運営方法をめぐり、昨年参加した旧マス研OB講師が、離脱した事は残念であった。母校愛のボランティアが基本で、意見の相違は予想外であった。昨年の総括をふまえ、就活講座は、今年も積極的に取り組む方針である。

●10周年、今こそ正念場  
MMCは、今年10周年(合併まえから30周年)を迎える。

### 堀口理事が井崎脩五郎氏の寄附講座招聘で母校に貢献



MMCのマスコミ人脈が校友会恒例の寄付講座に貢献しました。11月28日リバーホールで開かれた「競馬の社会学」に講演者として著名な競馬評論家の井崎脩五郎さんを送り込みました。

これは堀口博史常任理事が経営するライトハウス所属の鈴木淑子キャスターと協力して実現させたもの。周知の通り井崎さんは明治大学商学部に通っており、ジャ

パンカップ2日前というタイミングの良さもあり、3000人を超す聴衆は大喜びでした。

### 広島支部が初めの第二步

昨年の全国校友広島大会を契機に設立案が持ち上がった広島支部が、7月18日、広島市内で中国放送、中国新聞、広島テレビの3社6人で初の打ち合わせを行い、組織作りへ第1歩を踏み出しました。当面は正式に稼働するのは難しいとの結論に達しましたが、まじめ役の川島宏治中国放送取締役報道製作局長は、「リクルートのお手伝いなどできる範囲でやっています」と話していました。

### 全国紫明クラブとも交流

明治大学の職域校友団体でもあるMMCは、9月17日と、11月18日の全国紫明クラブ(上西紘治会長)例会にゲスト参加して、同クラブメンバーと交流を深めました。

同クラブは応援団OB会の中村久義特別顧問などが中心になって活動してきた校友の異業種交流会。MMCとしては昨年建設不動産協会(望月章次会長)と交流を始めましたが、母校支援のためにも、今後より職域校友団体との連携が求められています。

### 「MMC2009年新年総会」

開催月日 2009年1月28日  
開催場所 明治大学リバーテイー  
タワー23階「燦」  
タワール  
会次第  
午後6時総会  
・2008年活動報告  
・2009年活動方針  
・役員改選  
・その他関連事項

参加費  
午後7時新年懇親会  
1万1000円  
(年会費5000円含む)

不況の波がマスコミを飲み込む今こそMMCは致団結して、マスコミ業界の活性化と明治大学の発展に貢献する正念場である。

# 後輩よ！マスコミに

## MMC就職セミナー&就活講座

「後輩よマスコミ界へチャレンジしろ！」。就職セミナーと就活講座にMMCメンバーの熱い思いが結集され、ますます充実しています。セミナーは12年目、講座は2年目。学内にマスコミに特化した就職支援講座が少ないこともあり、延べ2000人以上の現役学生諸君が先輩講師のクラブメンバーと交流し、着実に成果も出てきました。

### 全体セミナー、現役学生過去最多の430名が参加

毎年早まる就職戦線に対応するため、今年5月のGW明け早々に全体セミナーを実施しました。その後、各分野別の6つのセミナーも5月の土曜日に2週連続集中的に開催し、学生にとっては1日に3分野のセミナーを聴講できるという機会が与えられました。

休日出勤された講師の皆様も、熱い視線の学生達にマスコミ業界の魅力や体験談、各社の採用試験内容等熱弁を振るっていました。



### 就活講座

「二人でも多くの後輩を我らがマスコミ界に！」が合言葉

#### ●一般講座

MMCマスコミ講座も2年目を迎え、MMCが誇る多彩な若手会員の力をより多く生かしていく為、一般職コースの講師陣を一新しました。

募集は一般職コース70名。約1・5倍の競争率の中、作文を足切りとして面接を重視しました。前期の課題はモチベーション作り。自分がどの業界に適しているのかを見極めてもらうため、様々な業種の先輩諸氏をゲストスピーカーに迎えて各業界の現状を知ってもらいました。

一方で博報堂の佐久間英彰氏によるいわゆる「自分史」を作る自己分析年表作成ワークショップ。同時に始めたのが作文基礎講座、その名も「サルでも解る作文基礎講座」。作文の書き方を徹底的に解りやすく公式化した作文ノウハウです。のちに米澤フラッシュ編集長による応用作文講座へと展開。

10月4、5日の合宿を挟んで、いよいよ後期は実践編です。まず10



佐久間講師による「自分史」ワークショップ

月はエントリーシート（通称ES）セミナー、11月になると面接セミナー、模擬面接を体験してもらい実際の就職試験に備えます。12月は更にそれぞれのブラッシュアップしていきまされ。

こうしてたくさんの方の会員先輩達のご助力のおかげで、昨年より少しばかり充実した就活講座に進化しているのではないかと自負しております。

#### ●アナウンサー講座

期待と不安の中でスタートしたアナウンサー講座でしたが、一期末から2人の内定者が出ました。他の学生も自分の夢をつかもうと一生懸命チャレンジしました。しかし、こればかりは目標の会社の環境、本人との相性が大きく左右します。皆が満足できるものでもありません。

それでも、ここで学んだ事はそれなりに他の企業の試験でも応用が利くようで、大変に参考になったという学生の声を聞くことが出来ました。内定を勝ち得た

2人は、志が高く、不屈の闘志で厳しい戦いをしてきました。これも「苦しい時こそ、前へ進む」明大魂が彼らの心の底にあったからだと思えます。今年4月入社してからが本番、初心忘れず！です。

さて、二期生の講座は昨年より三回増やして計十五回行いました。MMCの多彩な講師陣が、基礎発声、読み、フリートーク、作文、自己PR、レポート、インタビュー、VTR実習など学生達と共に、熱心な講座を行ってきました。内定をもらった4年生の二人も、時折顔をだし、より実践に即した内容となりました。

過ぎてしまえば、あつと言いつくの大学生活。自分がつの目標を持つて飛び込んだMMCの「学舎」を誇りを持って巣立つて下さい。「明大魂」を更に磨き、社会人になる為の身支度をMMCで整えて、厳しい就職戦線に臨んで下さい。

私たちMMCのOB・OGは、いつも明大の後輩たちを応援しています。

（MMCアナウンサー講座事務局）



アナウンサー講座決起大会

### 結果よりも大切なこと

#### 染谷 英輝

政治経済学部4年  
(2年1・3年1・4年1)



ひとつだけ確実に言えること、それはMMCがなければ、今の自分はいないということです。もちろん、今の内定先もなかっただろうし、それよりもっと大きなものを得られなかったと思います。人との出会い。全てはそれだと思えます。本気だからこそ信頼できる仲間。本気だからこそ、自分の仕事

をおいてまで指導に来てくださる先輩方。何度も心が動かされた瞬間がありました。

講義やOB訪問で悔しい思いをして泣いたこともありましたが、早い段階から厳しい講義で自分を追い込んだおかげで、本番では笑って面接に臨めました。この講座を通して、出会い、お世話になった方々に対して改めて、ここで感謝の気持ちを伝えたいです。本当に、ありがとうございます。

「人を変えることができるのは、人だけである。」これは、常に私の中にある言葉です。今までの繋がりが、これからの繋がりが、全てを大切にしていきたいです。これから社会に出て行くわけですが、一人の明治大学の後輩として先輩方よろしくお願いいたします。

#### ●全体合宿

今年の合宿は10月4日5日の1泊2日。場所は東京・八王子にある八王子セミナーハウス。一般職希望者51名が参加しました。

八王子セミナーハウスというのは、大学の設備ではなく明治大学も賛助校として加盟している財団法人で、他大学に混じっての合宿セミナーでした。

NTVの松永氏を始めTBSの本村隆氏や日経新聞の服部真樹氏、PHP研究所の太田氏、エイベックスの黒田英喜氏など様々な業界の先輩諸氏が応援に駆けつけてくれました。

内容としては、新聞・放送・出版・広告・制作エタ各業界別研究に始まり、二日間スピーチ、作文、面接と多岐に渡っていました。二日目の朝10時集合から翌日の午後12時までみっちり基礎固めが行わ

れていきました。まだまだこのころは講師・学生お互いの名前と顔が一致せず手探りの指導ではありましたが、熱血な2日間は後期のへの道しるべとして有意義な時を過ごすことができました。

大林 龍彦



全体合宿



# アナウンサー講座を終えて

# MMCめぐりがどう?

大城 蘭  
政治経済学部4年



(内定) アナウンサー職

今の自分に足りないものを身につけたい。その中で、1年前、MMCアナウンスコースの受験を決意しました。

講座では、アナウンスの基礎である、発声、発音はもちろん、原稿読みの練習にも力を注ぎました。そして、講座の回を重ねる事に、私は重要なことに気がつきました。

それは、授業の中の講師のお話から、上手く話すのではなく、人の心に語りかけるように話をする。心が、何よりも大切なことであるということでした。流暢に話すことだけがアナウンサーではない。言葉の中に、「気持ち」を込めること。この事に、私はやっと気がついたので、どんなに上手く話をすることができても、気持ちのこもっていない言葉は、人には伝わらない。そう確信しました。

これは、私がずっと悩んでいた「上手く話すこと」に人伝わる読み」という固定概念を気に変え、今の自分に足りないものは、まさに「伝えたい」という気持ちであることに気がつきました。実に単純なことですが、このことに気が付けたことは、就職活動にも大きな影響を与えました。例えば上手く話すことができなくても、気持ちを

しっかりと伝えられたと思う面接には、必ず良い結果が伴いました。何より、素直な自分を表現すること。この重要性を学べたことも、MMCの講座のおかげだと感じています。1年余りの就職活動の末、私は夢をつかみとりました。

デジタル化されていくテレビ業界の中で、ハートフルな心を持ち続けることを目標に、これからも頑張っていきたいと思えます。

## 道下 寛人

政治経済学部4年



(内定) アナウンサー職

MMCアナウンサーコース。私がお世話になった昨年度は、十七人の仲間と共に開講した。内容は、発声の基礎から実際の就職活動に必要な技術、心構えに至るまで充実したものだった。只、週回、二時間の講義であるため、量は自分で補わなければならない。この身に付いた自主性は、内定を頂いた今、より一層役立つ。

この講座で得たこと、それは「アナウンサーを仕事とする決意」である。先ほど述べた自主性は、講義中様々な場面で見られる。出席や課題について言われることはない。質問も自由。大変優しい先生方、のように見せて、あなたがアナウンサーになりたいならその意志を見せなさい」と、厳しい姿勢を

とられていたのでは。考えすぎではあるまい。実際の就職活動においても一番重要だったのは、決意だった。単にやりたい、だけではなくなつたあともやり続けられるか。その覚悟があるか。口に出されても出されなくても、全ての面接で問われていたように思う。私事であるが、自分の中で決意ができたのは「色紙の時」である。講義最終日に打ち上げを行い、私達三年生からお世話になった先生方へ寄せ書きを贈らせていただいた。私が色紙に書いたのは言、「なります」だった。

長かった学生生活、関東での生活が終わりを迎えようとしている。なりたかった仕事に就けるといふのに、正直不安な日々を過ごしている。この気持ちは入社まで、或いは入社してからも続くのかもしれない。二〇〇九年四月、私はアナウンサーになる。

佐藤 美緒  
情報コミュニケーション学部4年



(内定) 大手コンピューター会社

アナウンサー講座で受けたエンタリーシートの書き方は一般企業でも活かしました。また、一般企業の面接では関係ないと思っていた発声練習のお陰で、お腹から声を出すことが習慣となり部長クラスの年齢の方を前にしてもはつきりと声を出せるなどアナウンサー講座で得た物一つが私の社会人への入口をいい方向へ向けてくれました。私はアナウンサーにはなれませんでした。ですが、MMCに入った事で、

自分で納得の出来る就職活動をする事が出来ました。皆さんもアナウンサーに少しでも興味があったらぜひMMCの門を叩いてみて下さい。明治大学の素敵な卒業生の方々が待っています。

## 武藤 祥彦

商学部3年



先生のアドバイスを受けてからMMCの授業だけでなく、普段の生活でも自分の気持ちを相手に「伝える」ことを意識して話すように心がけています。これは私にとつて大きな変化でした。

現在、私は就職試験の真最中です。例年テレビ局のアナウンサー試験は始まるのが早く、すでに在京キー局の試験は全て終わってしまいました。しかし、アナウンサー試験はまだ始まったばかりです。「アナウンサーになるんだ」という強い意志を持ち続け、持てる力の全てを試験で発揮できるようにこれからも頑張っていきます。

## 島田 愛末

政治経済学部3年



アナウンサー受験は早くも10月初旬から始まりました。いざ試験になると、緊張のあまり練習してきた成果が出せなく終わることばかりです。

しかし、以前授業で行ったように毎回の面接をフィードバックして次の面接に活かせるように努めています。

# 就活講座追申

## 実践さながらの「ES講座」

一般講座やアナウンサー講座生が参加したエントリーシート(ES)講座は、昨年試験に実際に採用された各業界のESを利用して学生に記入させ、二人に親切丁寧に指導しました。学生も他の学生の良い点、悪い点を目の当たりにして真剣にメモを取っていました。その他作文、面接講座や新聞等記者希望者だけの分科会も開催しました。

それでも内定を勝ち取るのは厳しい世界ですが、「情熱」と「仲間」を胸に抱いて最後まで諦めずに突き進みたいですね。



キャリア形成支援事務室の杉林室長にご出席を賜りご挨拶を頂きました。

今年は、開講式にちなんでキックオフ講演を行い、採用試験の厳しさや人としての社会的マナーを、昨年度の事例をあげて講演いたしました。

また、各分野の講師の方々の挨拶を兼ねたミニスピーチと盛り沢山の内容でした。

今年は女子学生の数も目立ちました。また、駿河台校舎の学生ばかりでなく、生田校舎の各学部の学生のマスコミ志望者も多く、その真剣さは昨年の開講式以上の雰囲気でした。

柳沢克行(78年政経)

## 開講式での「キックオフ講演」

一般講座開校式には、大学就職





# 2008年MMCゴルフコンペ報告

## ●恒例観桜コンペ報告

4月2日、快晴無風、桜満開  
 今年は暖冬で開花が異常に早く、開催日には葉桜になっていたのではないかと懸念されたが、3月下旬に冷え込み日が続く、当日はドンビシヤリの満開と相成った。  
 千ちゃん笑み満開の初優勝  
 元々このコンペはアンダーハンド方式で優勝者を決めていた。ダブルペリアでやったこともある。ハンドキャップも何回も改正された。しかし優勝できない、かすりもしないという人が出てきてしまっ。そういう恵まれないゴルファー達(その筆頭が千ちゃん)をなんとかして優勝させようという堀さんの親心でオネストジョン方式が採用された。これが今回功を奏して、目出度く千田氏の初優勝となった。



観桜コンペの参加者 相模カンツリー倶楽部



観桜コンペ初優勝の千田氏。(右)

# 第1回MMCフォーラム開催 高木勝教授を招いて、 テーマ「サブプライム問題と金融危機」

テレビでおなじみの明治大学政経学部の人気教授・高木勝先生(大学院政治経済学研究所教授)をお招きして11月26日、MMCフォーラムを開催しました。活動強化のために月例会という名称をフォーラムと改めた第一回、しかも「サブプライム問題と金融危機」という時宜なテーマだけに、参加者34人は質疑応答や懇親まで充実の時を過ごしました。  
 今回の問題について高木先生は

「ブッシュ政権による市場原理主義、規制緩和政策が招いた当然の結果であり、証券化という形を通じて世界の投資家にばら撒かれ問題が拡張してしまっ。結果的にブッシュ政権がコントロールできない状態にまで来てしまっ」と現状を指摘され、「私は、規制緩和は必要だと思うが、秩序ある市場主義が前提だ」と、セーフティーネットなき規制緩和に警鐘を鳴らしました。

このコンペも高齢化の波が押し寄せ参加者も年々漸減傾向の中、遠路北海道より十勝毎日新聞社林光繁氏が参加され、噂どおりのシングル腕前を披露し、会を盛り上げた。



秋のコンペの参加者(2008年12月4日)

●秋のゴルフコンペ報告  
 こちらも恒例となったMMC秋のコンペが12月4日、武蔵松山カントリークラブで行われました。今

先生は銀行畑であり、かつニューヨークに5年間赴任し、生の現場を見てきた経験から、今回の問題を見ても懸念されていっ。問題を早くから懸念されていっ。「問題の発端は一年半以上も前であり、ノースカロライナ州での焦げ付き問題が発端であるが、当時のマスコミは99%が楽観論で、ローカルの問題としてしかとらえていっ。私はその後、レギュラーのNHKラジオでもさかんにこの問題について言っ。残念ながらマスコミの反応は少なかつた」と振り返り、「その後の対応の遅れが現状を招いていっ」と熱く語られる先生の話に我々マスコミ会員もみな真摯な気持ちで聞き入りました。



その後の懇親会では、同じ大学の教授、OBという関係でもあり、気兼ねなく、率直に疑問点・意見が飛び交い、充実の第一回フォーラムとなりました。



秋のコンペ優勝の久保田氏。

回のコースは、会員でありMMCコンペの常連でもある猪野慎吾様の紹介によるもので、ゆったりとした中にも池の配置が絶妙な、手応えのある素晴らしいコースでした。  
 今回見事優勝に輝いたのは久保田耕平様。実は当日朝、久保田様の名前がエントリーされていっかつたというハプニングがあり、あわやプレーできないのでは、というその本人が見事優勝、幹事ともども喜びを分かち合いました。今回初参加されたのは沖縄琉球放送東京支社長長の興那覇博明様。東京赴任に伴い、これからはMMC行事にもどんどん参加したい、と心強い言葉を頂きました。

## 参加者大募集中

●武内裕杯と銘打って今回で3回目。毎回美しい陶器を優勝杯としてご提供いただき感謝の念に耐えませせん。武内様有難うございませ。

石川遼の活躍で今年も益々盛り上がりを見せるゴルフ界。MMCコンペも皆様と一緒にゴルフ好きの輪を広げていきたいと思いますので、ベテラン初心者問わず、是非皆様の参加をお待ちしています。  
**幹事：楡郁太郎**  
 (申込連絡先 090-2247-1121)

## サマービアパーティー 初の紫紺館での開催、 約90名が参加

7月18日、MMCとしては初の駿河台校舎紫紺館でサマービアパーティーが開催されました。当日は就活講座生の現役学生の参加を含み、約90名のご参加を頂きました。

パーティーでは、この春から実施した就職セミナーや就活講座の報告や秋以降の合宿や講座予定も公表されました。マスコミ業界を目指す多くの現役学生も受付作業からお手伝い頂き、希望就職先企業のOBを見つけては積極的に質問している光景も見られました。  
 更に今年はこの四月入社したばかりの新社員も多く参加されました。これも長年実施してきたMMC就職セミナーの効果ともいえるのではないかと思います。久しぶりのMMCの会にご参加頂きました諸先輩の皆様は、たまに会えた後輩達にも多く接触を図られ、時代を超え業界枠を超えての

## 母校明治の近況

●第85回箱根駅伝で我が明大が総合8位に入り、43年ぶりに悲願のシード権を獲得しました。「西駅伝監督の指導を忠実に守り、選手たちは本当によく頑張りました。1人が欠けても2人、3人でカバーしチーム一丸となつて走りました」と速藤競走部監督のコメント。  
 ●大学法人が新体制になり、理事長に長堀守弘氏が就任。常勤理事は橋口隆二氏(財務担当)、日高憲三氏(募金・戦略広報)、清水秀夫氏(総務)、米山勝美氏(学務)、土屋恵一郎氏(教務)です。



親睦を深めることができました。また、明大の他のOB職域親睦会「全国紫明クラブ」や「建設・不動産駿台会」の皆様も参加頂き、マスコミ業界職種を越えた新たな情報交換も行われていっ。今後も両親睦会の皆様とは相互の会で交流を図っていきなと思っ。柳沢克行(78年・政経)